

環境大レポート

第30号

Mar. 2018

K A N K Y O D A I R E P O R T



特集 | 在学生座談会に参加してくれた皆さん

特集

2 3

TUES STUDENT ROUND-TABLE TALK

在学生座談会

公立鳥取環境大学ってどんな大学？どんな大学生活を送っているの？

ESSAY

退職にあたって 環境学部 学部長 富岡 庄一 教授

4

人事報告

退職者一覧／着任挨拶

キャンパスニュース

2017年9月～12月

5

就職支援

2017年度 内定速報

6 7



研究紹介

先端質量分析@環境大 環境学部 山本 敦史 講師

8



受賞関係

環大コンベ結果



キャンパストピックス

TUESファッションスナップ

9



クラブ&サークル活動・学友会活動報告

サッカー部・InformationCollection部/
第53回鳥取しゃんしゃん祭りに参加して・環謝祭レポート

10



プロジェクト研究

先進的な森林セラピー基地の取組を踏まえた鳥取県八頭町における
ニューツーリズム振興方策

11



国際交流

異文化を体感しながら楽しく学べる「英語村」を開設しています。



決算報告

2016年度 公立大学法人 公立鳥取環境大学 決算概要

12



お知らせ

学長予定者の決定について／2017年度学部・大学院学位授与式

在学学生座談会

Question!

公立鳥取環境大学ってどんな大学？どんな大学生活を送っているの？

学生4人に、大学の魅力や今学んでいること、鳥取での生活について話を聞きました。

Question!

なぜ、公立鳥取環境大学を選んだのですか？

井上 小さい頃から触れ合ってきた地元の自然が、中学生ごろから土地開発などで破壊されていく様子を見て、自然を守っていききたいと思うようになり、環境学部のあるこの大学で学ぼうと思いました。

渡辺 私は様々な分野に興味があるため、幅広い分野について学ぶことができるこの大学を選びました。様々な環境分野の基礎を1年生から学ぶことができるので、自分の興味を見つけやすいです。



本田 この大学に学びたい学部があり、小規模な大学ということに魅力を感じました。少人数だと先生とのコミュニケーションが取りやすいので良いなと思いました。また、田舎でゆったりと生活したかったというのも理由のひとつです。

小出 高校生の頃から地域でボランティア活動するなど、将来地域活性

化について考えていきたいと思っていました。この大学なら地域活性化について学ぶことができると感じ、選びました。

Question!

今、学んでいることは何ですか？これから学びたいことはありますか？

井上 4月から森林を専門にしている先生のゼミで、森林について研究をしていきます。鳥取県にある智頭町という町には、森林を活用した『森のようちえん』があるのですが、そこの調査をしたいです。

渡辺 まだ1年生なので、専門教育を学ぶための基礎科目を学んでいます。私は海洋生物が好きなので、これから海に関係する科目を積極的に学んでいき、知識を深めたいです。また、植物学の授業を受講して、興味がなかった分野にも関心が広がっています。

本田 私は、地域活性化について学び、将来は市役所などで地域に密着した仕事をしたいです。そのために、地域を活性化させるための鳥取県の政策について調べていきたいですね。

小出 地域の活性化に興味を持って大学に入りましたが、今はマーケティングや流通論、会計など、経営に関

する様々な分野を学んでいます。今はまだ、自分が将来何をしたいのか迷っているので、色々な分野について学んでいきたいですね。

Question!

公立鳥取環境大学に入学して良かったことはありますか？

井上 規模の小さい大学なので、教授や学生同士の距離が近く、仲良くなる機会が多いことです。高校生の頃に見た大学のパンフレットにも、皆の距離が近い大学だと紹介されていましたが、実際に入学してみて、まさにその通りでしたね。



渡辺 私も井上さんと同じですね。小規模な大学なので、学部と学年を超えてたくさんの人と話す機会が多くて楽しいです。先生方が、様々な環境に関するボランティア活動やイベントなどを紹介してくれるので、学外でも環境の知識を高めることができるし、大学の図書館には環境に関する専門書が多いのも魅力です。

本田 私も2人と同じで、皆の距離が近いことです。わからないことは先輩



TUES STUDENT SOUND-TABLE TALK
 環境学部1年
渡辺 綺華
 WATANABE AYAKA

TUES STUDENT SOUND-TABLE TALK
 経営学部1年
本田 奈々
 HONDA NANA

TUES STUDENT SOUND-TABLE TALK
 環境学部2年
井上 涼太
 INOUE RYOTA

TUES STUDENT SOUND-TABLE TALK
 経営学部2年
小出 紘己
 KOIDE HIROKI

に聞きやすく、所属している大学祭実行委員会とサイクリング部の先輩にはお世話になっていますね。あとは一緒にいて楽しい友達もできました。一緒に授業を受けたり、夏休みに旅行したり、家で遊んだり、大学生ならではの生活を楽しんでいます。

小出 授業でグループ活動をするなかで責任あるポジションに立つなどして、責任感が強くなりました。あとは、初めての一人暮らしやアルバイトを通して、自立心を養うことができた点も、この大学に入学して良かったことですね。



Question!
 鳥取での生活はどうか？

井上 地元の徳島県と雰囲気が似ているので生活しやすいですが、冬の雪は大変なときがあります。あとは、最初は一人暮らしの生活が大変でした。親のありがたさを知ることができたね。実家に帰ったときは積極的に手伝いをしています。

渡辺 鳥取は豊かな自然を活かしたアクティビティを楽しむことができます。夏は沢を登るウォータークライミングに行きました。今年の冬はスキーやスノーボードを楽しみたいです。アウトドアが好きな人には鳥取はおすすめです。

本田 私も鳥取の自然を満喫しています。春は、海に毎週のように行って、写真を撮ったり、貝殻を拾ったりしていました。夏は、サイクリングをしたり、川遊びをしたり。秋は、紅葉がとてもきれいで、四季折々の遊び方ができるのが鳥取の魅力です。

小出 大学生活では積極的に活動しようと意識しています。イベントにできるだけ参加したり、委員会と部活動に入り積極的に参加し、毎日充実した生活を送ることができています。鳥取の生活の中で、高校生の頃よりも社交的になりましたね。





退職にあたって

経営学部 学部長
富岡 庄一 教授

2012年4月、広島大学経済学部を定年退職して、鳥取環境大学(大学名に「公立」がまだ付いていませんでした)経営学部に着任しました。いきなり学部長を命じられ、面食らいました。経営学部の先生方も困惑されたのではないかと思います。しかし、教職員の皆様の御支援を得て、なんとか歩み始めることが出来ました。2012年4月は、鳥取環境大学が公立大学法人として新たに発足した年でした。学部構成も、環境学部と経営学部の新学部が発足しました。私は、広島大学以前にも、幾つかの大学に勤務していましたが、いずれも、既に長い歴史を持って、出来上がった大学・学部でした。鳥取環境大学で、初めて、新たな大学・学部作りに加わることになったのです。その際、私の脳裏にあった「大学像」は以下のようなものです。

そもそも「大学」の歴史は、12世紀頃のヨーロッパの都市で学生と教師の共同組合として始まった。法学、医学、神学が中心であった。このような大学はやがて衰退するが、19世紀初頭のプロイセン国民国家でベルリン大学として復活する。実験室やゼミ室で研究を通じて教育するという方式で近代科学における様々な成果が生み出された。教育は既存の知識体系を伝授することで、研究は既存の知識体系を乗り越えて新しい知識体系を構築する営みである。このような大学像は日本にも伝わり戦前の帝国大学の基礎となった。又、アメリカ合衆国にも伝わり、既存の「大学」(ラテン語や古典の教養を教えた)の上に「大学院」(研究が中心)があるという形で発展した。この方式は、戦後の日本にも導入された。このような大学の歴史が示すように、

大学においては研究と教育が一体のものである(研究を通じた教育、研究に支えられた教育)。

大学の質を高めるとは、より優れた研究に支えられたより優れた教育を目指すことであると考えます。但し、これは大学の基本的なあり方で、現実には研究に重点を置いた大学、教育に重点を置いた大学等があります。公立鳥取環境大学は、教育に重点を置いた大学として発展すべきであると思います。公立鳥取環境大学が更に素晴らしい大学になるよう祈念します。有り難うございました。

人事報告

2018年3月31日をもって7名の教員が退職されます。

経営学部 教授 **富岡 庄一** (在職:2012年4月~)環境学部 教授
松村 治夫
(在職:2011年4月~)環境学部 教授
岡崎 誠
(在職:2001年4月~)経営学部 教授
武部 隆
(在職:2012年4月~)経営学部 教授
日置 弘一郎
(在職:2015年4月~)経営学部 教授
北崎 寛
(在職:2009年4月~)経営学部 准教授
泉 美智子
(在職:2012年4月~)

着 | 任 | 挨 | 拶 |

環境学部 **山口 創** 講師

2017年10月に環境学部に着任致しました。私の専門は農村計画学で、農村地域が直面している様々な課題の解決や、持続的発展の方策について社会科学的視点から研究を進めています。いわゆる地域活性化と呼ばれる分野です。農村(フィールド)に行けば、我々が研究すべき課題は山ほどあります。学生さんには、教科書から学ぶだけでなく実際にフィールドに出向き、五感を通して農村の現状を理解し、課題をみつけ、自分なりに解決策を考えて欲しいと思っています。また、自分で課題を見つけ、解決策を考える経験は、社会に出ても必ず役立ちます。ゼミ活動や講義を通して、このような学びの機会をたくさん作っていきたくと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



経営学部生有志が、 第二回関西広域連合 若者世代による意見交換会 プレゼンテーションにおいて 準優秀賞を受賞しました

2017年9月8日(金)にとりぎん文化会館で開催された、関西広域連合主催の第二回若者世代との意見交換会のプレゼンテーションで経営学部7名のチームが準優秀賞を受賞しました。

第二回目となる今回は「人口減少社会に対する、関西の魅力向上策について」という課題に対し、8つの大学・大学院から9チームのプレゼンテーションがありました。

学生は鳥取県庁・鳥取県南部町役場・鳥取県南部町観光協会・株式会社緑水園の方々へのヒアリングを行い、『遊休資源の活用バイブル作り』をテーマに発表しました。



～鳥取県の“今”と、 課題への“挑戦”を学ぼう!～ 「鳥取学」のゲストスピーカー に平井伸治・鳥取県知事をお 迎えしました

2017年10月25日(水)、本学の総合教育科目として開講している「鳥取学」のゲストスピーカーとして、平井伸治・鳥取県知事をお迎えしました。

「鳥取学」は、「人と社会と自然との共生」を考察する基盤を、鳥取地域を題材として学ぶ1年次の必修科目で、鳥取地域の自然環境と歴史文化を総合的に理解することを目的としています。

鳥取県の“今”と、その課題への“挑戦”の観点についての平井知事による講義を、受講生は真剣なまなざしで受講しました。講義の最後には、受講生たちに向けて「Small is beautiful, Small is powerful. 小さいからこそ、つかめるチャンスがある!」と激励のメッセージを送られました。



環境学部4年 高橋 美佐紀さんが、 隔月刊「地球温暖化」 2018年1月号に掲載されました

「低炭素社会実現」を目指す提言誌「地球温暖化」は、CO2削減と新・省エネビジネスを推進するために、日報ビジネスが発行している環境情報誌です。

高橋さんは、自身が参加している青年環境NGO Climate Youth Japan(CYJ)でCOP23派遣事業の統括を務め、その取り組みが本紙に取り上げられました。

CYJはCOP16からユースの派遣を開始し、今回2017年11月6日から11月17日までドイツ・ボンで開催されたCOP23に、高橋さんを含めた8名が派遣されました。派遣された8名は、現地での活動の情報発信や海外ユースとの交流、ジャパンバピリオンでのワークショップの開催等を行いました。

高橋さんは「今後もCOP派遣を継続し将来世代の声を発信していくとともに、2020年の東京五輪に向けたサステナリンピック事業の活動も、より活発にさせていきたい」とコメントしています。



故 高橋 一 理事長兼学長お別れの会を執り行いました

公立鳥取環境大学 理事長兼学長 高橋 一 先生のお別れの会を、2017年9月27日(水)に、本学の11講義室において執り行いました。

お別れの会には、平井伸治鳥取県知事や深澤義彦鳥取市長をはじめ、鳥取大学学長豊島良太様、高橋先生と公私ともに長きにわたりお付き合いのあったハーバード大学

経営大学院教授竹内弘高様、県内外の大学・企業の理事長・代表の皆様など、300名を超える方々にご来場いただきました。

閉会后、先生のお好きだったカントリーミュージックを背に、ご来場の皆様のほか、本学学生や教職員も、高橋先生の祭壇に献花をして頂き、先生との別れを惜しみました。



内定

日本気象協会



高藤 祐衣さん
(福岡県出身)

ただただしくても自分の言葉でそれが面接のポイントだと思う

ゼミで防災について学び「困っている人を助けたい」と思ったのが日本気象協会を志望した理由です。大学の指導で役立ったのは面接。iPadで撮影され、自分の模擬面接の様子を見た時は態度の悪さにびっくり。その後は職員の方のアドバイスを素直に受け入れ改善しました。最終的に評価されたのは、質問に自分の言葉で答えたこと。回答例をスラスラ話すより、ただただしくても自分で考えた言葉の方が印象に残るようです。私が内定をもらったのは9月。みなさんもあせらず自分を信じて頑張ってください。



ヤギ部の親睦会の集合写真です。2年次に副部長をやっていました。

内定

ゼンリン



大林 和真さん
(熊本県出身)

志望動機も携わりたい仕事も企業研究をしないと答えられない

企業選びは柔軟に視野を広げること。企業研究は徹底的に行うことが就活のポイントだと思います。うまくいかないことが多いので視野が狭いと行き詰ります。また、企業研究を真剣に行わないと「志望動機」や「入社して携わりたい仕事」などの定番の質問に、熱意を持って答えられません。私の場合は「地理のゼミに入っていたこと」「熊本地震で全国から受けた支援に恩返ししたいという気持ちをもっていったこと」が内定先とうまく結びつきました。それから就活は団体戦です。仲間と情報を共有しながら頑張ってください。



今年の夏、バイクで日本一周に挑戦し、日本最北端に到達した時の写真です。

合格

福岡県高校教諭(生物)



佐野 寿明さん
(熊本県出身)

学び続ける教員への第一歩は仲間と毎週続けた自主ゼミ

教員には豊かな専門知識と、優れた指導力、そして日々学び続けられることが必要です。私は9人の仲間と2年後期から自主ゼミを開催。採用試験まで毎週みんなで勉強し続けました。一方、先生方の指導も支えになりました。3年は教職セミナーを受講し、採用試験対策はバッチリ。4年の採用試験前はまるまる1週間、福岡県にあわせた筆記試験や面接の指導をしていただきました。さらに自主ゼミの仲間たちとメッセージを入れあったハチマキをつくりモチベーションアップ。先生と仲間を両輪に頑張りました。



教職課程の教員採用試験を受けるメンバーで実技試験の勉強をしています。

内定

トーエネック



尾崎 巴美さん
(愛知県出身)

環境経営に多くの企業が注目 本学の強みをアピールしよう

トーエネックは中部電力のグループ企業。関連する設備の設計・施工などを行っています。地元企業で、環境活動に熱心で、女性が活躍している私の理想の企業でした。私は先生の勧めもあって、3R低炭素社会検定、ECO検定、特別管理産業廃棄物管理責任者を取得。「環境活動についてお願いしたいな」と言われるほど、環境系の資格は多くの企業から注目されました。環境と経営2つの視点を学べるうえ、資格取得の支援制度が充実している本学。学びも支援制度も、本学の特色を活かせば、就活はうまくいくと思います。



大学祭実行委員会に所属していて、当時は企画会場班の班長をしていました。

2016年度就職実績

【公務員】愛媛県/大阪市教育委員会/大阪府教育委員会/大田市/佐賀県教育委員会/鳥取県警察/長崎県/日向市/兵庫県
【一般企業】(農業・林業)西日本ジェイエイ畜産(漁業)弓ヶ浜水産(建設業)イビエングリーンテック/九州林産/三和電業グループ(製造業)アルボレックス/井関重信製作所/ウッドリンク/ジャパンマテックス/スズキ/セイバン/ゼニス羽田/大洋工作所/大和冷機工業(情報通信業)日本ラッド(卸売業・小売業)アンデルセン/イオンリテール/グラセル/コスモス薬品/佐渡島/山陰酸素工業/しまむら/生活協同組合ひるしま/大黒天物産/天満屋/中井工業/日本食研ホールディングス/平林金属/PLANT/ヤマエ久野/ヨドバシカメラ(金融業・保険業)愛知県農業共済組合/アサヒホールディングス/おかやま信用金庫/京都中央信用金庫/但馬銀行/鳥取銀行/西兵庫信用金庫/明治安田生命保険相互会社(不動産業・物品賃貸業)スギホールディングス(学術研究・専門・技術サービス業)カイタック/日本ミクニヤ/非破壊検査(医療・福祉)日本ステリ(複合サービス事業)徳島県土地改良事業団体連合会/福山市農業協同組合/真庭農業協同組合(サービス業(他に分類されないもの))三光/全国町村会/東洋産業
【進学】京都大学大学院/静岡大学大学院/信州大学大学院/福岡教育大学大学院/北海道大学大学院 ほか

2017年度内定者実績(2017年12月6日現在)

【公務員】愛媛県(教員)/湖西市/福岡県(教員)/美濃市
【一般企業】(建設業)一条工務店/昭建/昭和造園土木/トーエネック/広築/ヤマタホーム(製造業)アストラゼネカ/アユミ工業/出雲村田製作所/大阪シーリング印刷/クラブ/シャボン玉石けん/白崎コーポレーション/太平洋工作所/豊生ブレーキ工業/武蔵野/銘建工業/油長酒造(情報通信業)アローズ・システム/ゼンリン/TIS/日本気象協会/ボードルア(卸売業・小売業)ELJソラーコーポレーション/イズミ/イズミヤ/ENEOSグループ/エネサンス九州/カインズ/加藤自動車相談所/がんばりや/コスモス薬品/コンプラエージェント/佐渡島/さんれいフーズ/たけびし/ナンバ/ハヤシ/日ノ丸産業/平林金属/広島トヨペット/ベトナム/港産業/ヨネザワ/リードビジョン(不動産業・物品賃貸業)学研ココファン/JR大分シティ/ティーケービー(学術研究・専門・技術サービス)エース/シークス/ネットラーニングホールディングス/ノブレス・セントラル(生活関連サービス業・娯楽業)プリペット(教育・学習支援業)英進館(複合サービス事業)清水農業協同組合/生活協同組合コープ宮崎(サービス業(他に分類されないもの))アウトソーシングテクノ/ロジエ/シナジー/新日本開発/大栄環境/テレコメディア/日本環境クリアー/浜田/VSN
【進学】岐阜大学大学院/鳥取大学大学院/鳴門教育大学大学院/北海道大学大学院

内定

大和証券



浅原 由弥子さん
(岡山県出身)

「こうするのか!」という
就活のポイントを早くつかもう

韓国に短期留学するなど、3年の夏は就活に役をえませんでした。2月にインターンシップを体験し、本気モードに。でも、何をしたらいいのかわからず、そこで相談したのが地元で就活していた時に利用した岡山オフィス。卒業生を紹介していただきました。その先輩はわざわざオフィスまで来て、エントリーシートや履歴書の書き方、就活の流れを教えてくださいました。その後は6月に内定をいただけるほど順調。就活には「こうするのか!」というポイントがあります。職員や先輩に相談し、早めにコツをつかみましょう。



4年間所属していた大学祭実行委員会での活動の様子です。

内定

大和リビングマネジメント



河合 俊介さん
(岡山県出身)

入りたい熱意を伝えるのが就活
その力が身につくのが本学

自分の長所である笑顔と元気を前面に出して働きたいと考えていました。それで志望したのが、大和ハウスグループの一員として、賃貸住宅の管理・運営をメインに行う当社。実は私も当社から部屋を借りていて、初めての一人暮らしを親身にサポートしていただきました。面接では「私も住まいのことで困っている人を助けたい」とアピール。軟式野球で身につけた元気さとアルバイトで培った笑顔、フィールドワークで育てたコミュニケーション能力をフル回転。無事、内定をいただき、本学での4年間に無駄はないと感じました。



4年間頑張った軟式野球部での集合写真。

内定

鳥取銀行



奥村 美鈴さん
(鳥取県出身)

資格を大学のうちに取ると
就活にも入社後にも役立つ

銀行を志望した後、私は日商簿記2級を取得しました。そういった努力ができるか、コミユカがあるかなど、企業は学生の人間力をみています。資格は学内の講座を利用し、もっと取っておけばよかったですね。就活でアピールできるし、銀行の場合、入行後の仕事や昇進に必要です。コミユカについてはサークルで鍛えられました。つながりは社会人にまで広がり、内面も成長できたと思います。人との関わりは、息抜きにも壁を乗り越えるヒントにもなるいいものですよ。本学で資格や人間力などアピールできるものを育てよう。



crossingというサークルで今年の夏に行った、校内でキャンドルを灯した時の写真。

内定

東京海上日動火災保険



玉置 はるなさん
(京都府出身)

就活の視点を「これしたい」から
「こうなりたい」へ変えて正解

「どんな仕事がしたいか」という視点で就活していましたが、合同説明会で会った女性社員が素敵で「どんな社会人になりたいか」という視点で企業を探そうになりました。仕事も結婚も子育てもバランスよくできることを考え、あの素敵な女性社員がいる企業、東京海上日動火災保険を受けることに。採用試験では1年間韓国留学をしていた行動力、留学で身につけた積極性などをアピールでき内定をいただきました。「今が一番輝いている」と何歳になっても言えるよう、入社後も貪欲に成長していきたいと考えています。



清州大学と公立鳥取環境大学の交流で鳥取砂丘を案内した時のもの。

2016年度就職実績

【公務員】鳥根県警察/鳥取県警察/美祢市
【一般企業】(建設業)セキスイハイム中四国/大和ハウス工業(製造業)協立電機/寿製菓/ダイヤテックス/日本精糖/マルサンアイ鳥取(運輸業・郵便業)アートコーポレーション/エフピコ物流/九州旅客鉄道/西日本旅客鉄道/日本郵便/ヤマト運輸(卸売業・小売業)光文堂/ジュンテンドー/生活協同組合おかやまコープ/セブン-イレブン・ジャパン/ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本/東陽/中島商会/パナソニックコンシューマーマーケティング/山星屋/ローソン(金融業・保険業)あいおいニッセイ同和損害保険/オリエントコーポレーション/SMBC日興証券/関西アーバン銀行/倉吉信用金庫/山陰合同銀行/大山日ノ丸証券/玉島信用金庫/徳島信用金庫/鳥取銀行/鳥取県信用農業協同組合連合会/鳥取信用金庫/百十四銀行/碧海信用金庫/ゆうちょ銀行/米子信用金庫(生活関連サービス業・娯楽業)エイチ・アイ・エス(教育・学習支援業)近宣/公立大学法人公立鳥取環境大学(複合サービス事業)鳥取いなば農業協同組合/みのり農業協同組合(サービス業(他に分類されないもの))鳥取市環境事業公社/三菱電機ビルテクノサービス ほか

2017年度内定者実績(2017年12月6日現在)

【公務員】岡山市消防局/坂井市/鳥取市/三田市/陸上自衛隊(幹部候補生)/和歌山市
【一般企業】(建設業)高田工業所(製造業)壽製菓/サンシュウグループ/三友土質エンジニアリング/大山乳業農業協同組合/日本空調北陸/プライムデリカ/豊和/ミクニ/安田工業(情報通信業)アクシス/インフォメーション・ディベロップメント/ケイズ/新日本海新聞社/新日本コンピュータマネジメント/鳥取県情報センター/中広/LASSIC(運輸業・郵便業)埼玉新都市交通/四国旅客鉄道/西日本旅客鉄道/日本郵便/マルニコーポレーション(卸売業・小売業)アスノ/アダストリア/エディオン/ガスバロ中国/キンキレコム/神戸マツダ/コムバス/シティライト/篠原電機/ジーンズ/大屋/中日本フード/日産サティオ岡山/日ノ丸産業/平林金属/フェイス/富士電機テクニカ/藤三/マツオインテナーショナル/やまちや(金融業・保険業)かんぼ生命保険/岐阜信用金庫/京都北都信用金庫/山陰合同銀行/十八銀行/全国共済農業協同組合連合会鳥取県本部/大同信用組合/大和証券/玉島信用金庫/中国銀行/東海東京フィナンシャル・ホールディングス/東京海上日動火災保険/鳥取銀行/トマト銀行/中兵庫信用金庫/明治安田生命保険/山口フィナンシャルグループ/ゆうちょ銀行(不動産業・物品賃貸業)アーバンライフ住宅販売/穴吹興産/エイブル/京都ライフ/神戸SC開発/大和リビングマネジメント/新システムバンク/レオパレス21(学術研究・専門・技術サービス)ゲオホールディングス/さんぽう/神輝興産/新広社(宿泊業・飲食サービス業)大江戸温泉物語(生活関連サービス業・娯楽業)穴吹トラベル/JTB HONG KONG(医療・福祉)くまざき/中国労働衛生協会/姫路市社会福祉協議会(複合サービス事業)遠州夢咲農業協同組合/岡山西農業協同組合/全国農業協同組合連合会鳥取県本部/兵庫西農業協同組合(サービス業(他に分類されないもの))テレコムメディア/マーキュリー



先端質量分析 @ 環境大



環境学部

山本 敦史 講師

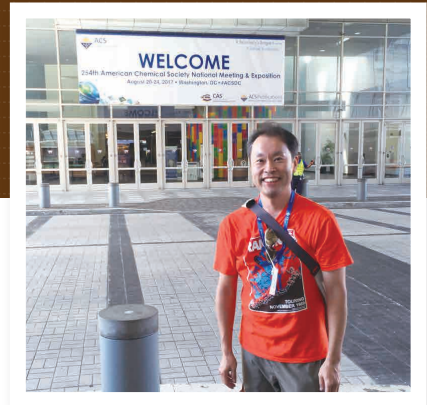
こんにちは、2016年4月に環境学部に着任した山本敦史と申します。現在、研究室の立ち上げを進めています。

私のそれまでの専門は環境汚染物質分析で、環境中の汚染物質に関する仕事は、非常に微量の、例えば50メートルプールに1滴というような微量の汚染物質を見つけるところから始まります。もちろん、これらの汚染物質は目で見て見つけられるものではなく、大型の分析機器を使います。世の中には様々な分析技術・機器がありますが、環境試料のように色々なものが混ざった中にある汚染物質を分析するためには、質量分析という技術が最もよく使われています。質量分析は、簡単にいえば、物質の質量を量るもので、違うものがたくさん混ざっていても質量の違いにより個別の成分を分けて取り出すことができます。



▲ 分析機器たち

それまで、質量分析計のような大型分析機器は大学内になかったのですが、多くの方々のご協力により現在5台の質量分析計が実験研究棟内で稼働しています。最新の装置もあれば、ウィンドウズNT4 で動いているもの(装置メーカーの方が懐かしい装置に感激して写真を撮って帰られるくらいです)もあります。なかなか地方でこれだけ質量分析計が揃った分析室も少ないのではないかと今では少し自慢ですね。これらの質量分析計は環境汚染物質の測定に特化しているかというそうではなく、他にも健康を害する物質・有用な役立つ物質の分析にも使うことができます。例えば今、食品の包装・容器に関する研究課題に取り組んでいます。包装・容器の素材はそれらに含まれる成分が食品に移行する可能性があります。もちろん、規制の対象となっている成分が含まれないことはメーカーや行政によって監視されています。ただ包装や容器も食品の劣化を防ぐ等機能向上が進んでいて、新素材が次々開発されています。そのためメーカーや行政も含まれるすべての成分を調べるのが難しくなっています。そこに化学分析による研究課題としての意義ができます。先端の質量分析は進歩が目まぐるしく、これまでの規制で見



▲ 楽しそう

落とされている物質を見つけることができる可能性があります。国際的にも包装・容器に含まれる原材料の不純物や副反応物等の非意図的添加物への注目が高まっています。質量分析を使った包装・容器からの漏れ出す成分についての研究成果は2017年8月ワシントンDCで開催されたアメリカ化学会で発表しました。



▲ 有効成分は見つかるか?

この手法は、農産物の有用成分探索や産地による違い等を見いだすことにも使える可能性もありますので、環境汚染物質分析に限らず、地域の役に立っていききたいですね。

第14回 環大コンペの結果について

環大コンペとは「公立鳥取環境大学を支援する会」主催のイベントで、大学生活の向上と地域社会に貢献する企画を学内から募集して、優秀企画(団体)を表彰し副賞を授与するものです。

今年度は7団体7企画の応募があり、書類審査、プレゼンテーション審査を経て、右記のとおり入賞企画が決定しました。平成29年12月27日の受賞式では、同会の英(はなふさ)会長より、「環大コンペが、企画力・プレゼン力を養うよい機会となってくれたらと思う。いろいろな考え方を身に付けて、今後も新しい発想でチャレンジを続けてほしい」と激励の言葉をいただきました。また、1位に輝いた「サイクリング部」が参加者を代表して「活動をサポートしてくださった皆さんに感謝している」とお礼の言葉を述べ、企画のプレゼンを披露しました。

【第1位】(賞金10万円)

これぞ田舎の最先端!?鳥取ツーリズム 団体名:サイクリング部

【第2位】(賞金8万円)

智頭歴史トラップで遊ぼう!

団体名: CRT

【第3位】(賞金5万円)

ふる里鳥取の砂丘ガエル展

団体名: 公立鳥取環境大学
まちなかキャンパス里山生物園

【奨励賞】(賞金1万円)

地域の遊休資源の課題を解決する! 大学生目線で作る「遊休資源の活用バイブル」

団体名: 関西広域連合公立鳥取環境大学チーム

五臓圓カフェ

団体名: カフェプロジェクト





TUES

学内のおしゃれな
学生をリサーチ!!

ファッションスナップ

この日は日本列島に最強の寒波が流れ込み、鳥取でも雪が降っていました。おしゃれを楽しみながら、しっかりと防寒対策をしている学生たちのファッションをご紹介します!

【質問項目】

- ①名前 ②学部・学年
- ③出身 ④趣味 ⑤特技
- ⑥今日のファッションのポイント
- ⑦大学の良いところ
- ⑧学内で好きな場所



No. 01

- ①藤本 尽
- ②環境学部 2年
- ③兵庫県
- ④髪の脱色、カフェ巡り、読書
- ⑤安全運転
- ⑥防寒対策!!
- ⑦人と人の距離が近い所!
- ⑧学食の柱の近く



No. 02

- ①遠藤 莉央
- ②経営学部 2年
- ③島根県
- ④バレーボール
- ⑤3秒で寝れる
- ⑥冬眠しそこねた熊
- ⑦別の学部の人とも仲良くなれる
- ⑧ダンクショップ



No. 03

- ①田原 ころ
- ②経営学部 2年
- ③香川県



- ④ギター
- ⑤目玉リレー
- ⑥暴風雪にも負けない
- ⑦学年関係なく仲が良いところ
- ⑧食堂



No. 04

- ①倉本 蘭
- ②環境学部 1年
- ③広島県
- ④パンダ・カエルを見ること
- ⑤空手
- ⑥あたたかさを追求しました。
- ⑦積極的に行けば何でも出来る、学べる所。
- ⑧ヤギ柵内



No. 05

- ①平良 大飛
- ②経営学部 1年
- ③沖縄県
- ④運動すること
- ⑤ボールを使うスポーツ
- ⑥モノクロトーン
- ⑦いろんな人と仲良くなれる
- ⑧食堂





クラブ&サークル活動・学友会活動報告



サッカー部

私達サッカー部は毎週火、水、土曜日に活動しています。部員総数31名で楽しく活動しています。練習は自分たちで考え、試合で勝つためにどうすべきか話し合いながら行っています。

時に意見が分かれたりして部員同士がぶつかる時もありましたが、昨年はチーム一丸となって挑んだ、鳥取県東部地区社会人リーグ1部で優勝することができました。悪天候な中でのプレーや、なかなか人が集まらない状況での試合などつらい時もありましたが、試合を終えてみての達成感は大きかったです。

大学から始めた人や、高校、中学ではやめていたが大学では少しやってみようかなといった部員も多いので、初心者でも気軽にプレーできる環境だと思います。ぜひ一度体験されてみてはいかがでしょうか。新入部員は常時募集しておりますのでみんなで盛り上げていきましょう。

代表:小川 剛平 (経営学部 2年)



InformationCollection部

私たちInformationCollection部は、現在18名で活動しています。主な活動内容は、年に2回発行する、フリーペーパー(情報誌)の制作・発行です。テーマは毎回部員が決めるのですが、一昨年は、公立鳥取環境大学生をはじめとする、鳥取の大学生に鳥取の企業を紹介しました。賀露や青谷、白兔、鳥取駅周辺などでインタビュー調査をしつつ、部員のメンバーと一緒に観光したりして、楽しみました。去年は、鳥取市の高校生を対象に、公立鳥取環境大学のことをもっと多くの方に知ってもらうことをテーマにし、制作しました。内容は、環謝祭や英語村、サークル活動などについて、インタビュー調査を通して私たち公立鳥取環境大学の学生目線で制作し、鳥取駅、津ノ井駅で鳥取市の高校生へ配布しました。

InformationCollection部というサークルは、まだ歴史が浅いですが、公立鳥取環境大学の魅力をもっと多くの方々にお伝えできるように、これからも頑張っていきます。

代表:池本 さなえ (経営学部 3年)

学友会 活動報告

【第53回鳥取しゃんしゃん祭りに参加して】



2017年8月14日第53回鳥取しゃんしゃん祭一斉傘踊りに、踊り子・スタッフ総勢122名の学生が公立鳥取環境大学A連・B連として参加しました。昨年度より参加人数が格段に増え、より活気のあるしゃんしゃん祭となりました。

総代とリーダーを中心に本番に向けて踊りの練習を行い、他学年との交流を深めることができました。本番当日は雨天であったため、途中中止となりましたが、参加者全員が一体となって踊りを盛り上げ、楽しむことができました。

第53回鳥取しゃんしゃん祭に参加するにあたり、様々な面でご協力いただいた皆様へ、この場をお借りして、心より御礼申し上げます。TUESしゃんしゃん愛好会はこれからも、地域社会とのつながりを大切に、精一杯鳥取しゃんしゃん祭に参加する学生のサポートをして参りますのでよろしくお願い致します。

TUESしゃんしゃん愛好会 代表:大井 有美衣(環境学部2年)

【環謝祭レポート】



2017年10月21日、第17回環謝祭を開催しました。

今年度は、台風の影響により21日のみの開催となりましたが、当日は、約27の企画や多種多様なイベントを実施し、盛り上げることができました。特に、「ハイキングウォーキング」と「R藤本」と「クレメンズ」を招いた「爆笑お笑いLIVE」では、鳥取にゆかりのあるネタも織り交ぜていただき大盛況のステージとなりました。また、模擬店は44団体が出店し、地域企業団体の方々にも模擬店を盛り上げていただきました。

第17回環謝祭を開催するにあたり、ご協力いただいたみなさまへ、この場をお借りして委員会を代表し、心より御礼申し上げます。来年度も多くのお客様のご来場を委員一同、心よりお待ちしております。

第17回公立鳥取環境大学 大学祭実行委員会
委員長:飯塚 孝之(経営学部2年)



プロジェクト名

先進的な森林セラピー基地の取組を踏まえた鳥取県八頭町におけるニューツーリズム振興方策

森林セラピーは、医学的に解明された森林浴効果のことで、都会でストレスの多い生活をしている人たちに森林浴体験を通じてストレスを癒し、都会と森林地域の交流、ひいては森林地域の活性化も期待されています。全国62か所の森林セラピー基地等では、専門のガイドによるウォーキングに加え、現地の新鮮な食材による食事の提供や森林でのヨガ体験等のメニューも実施されています。



▲ 智頭町での森林セラピー体験の様子
生憎の雨でしたが・・・

その結果、森林セラピー基地の中でも、先進的な取組が行われている地域は、体験型交流型の観光を重視するエコツーリズムやヘルストourismなどのニューツーリズムの観点からも高い評価を得ていることを明らかにできました。こうした森林セラピー基地での取組を活用し、鳥取県各市町村におけるニューツーリズム振興を図るべく、市町村関係課に対するアンケート調査を行い、今後観光で活用したいと考えている森林や参考にしたいと考えている森林セラピー基地における

経営学部 細野担当プロ研1～4では、2014年度より、森林セラピー事業の展開と農山村の再生をテーマとし、鳥取県智頭町の森林セラピーコースの現地見学や全国の森林セラピー基地等担当者や智頭町事業参加者へのアンケート調査などを行ってきました。

取組を把握させていただきました。その結果を踏まえ、2017年度は、八頭町八東ふるさとの森と同町の主要な観光資源を対象にした調査を実施しています。本プロジェクト研究は、本学の「麒麟の知(地)による学生教育プログラムの開発・展開」の一環ともなっています。今年度は、これまでの先輩達の研究成果をフォローしつつ、手分けして関連書籍や資料を調べ、10月29日に智頭町芦津の森林セラピーロード、11月26日に八頭町八東ふるさとの森に現地見学に出かけました。智頭町では、ガイドの方の説明を受け、ウォーキングや五感を研ぎすます体験をし、八頭町では、八東ふるさとの森の所長さんの講義と案内でふるさとの森事業の現状と課題を理解することができました。



▲ 八東ふるさとの森 高田所長による講義
外では既に降った雪が残っていました。

現在、「鳥取県に住むことになり、鳥取県内を旅してみようという環境大学生や教員の視点」+「森林セラピー基地の取組から得られた知識の応用」によって、鳥取県内市町村の「住まうように旅する」の実現に向け、何か貢献できるような提案をすべく、メンバー全員で取り組んでいるところです。

プロジェクトアドバイザー 経営学部 細野宏 教授

プロジェクトメンバー

プロ研2：金森秋波、崎野奈央、杉本糸音、征矢勇人、高須賀大(環境学部) / 金山あかね、乗原圭希、小林亮太、島村聡矢(経営学部)

プロ研4：藤井和将、松原甲斐、柳町周(環境学部) / 松本果子、森永大貴、山中薫、和田侑大(経営学部)

国際交流

異文化を体感しながら楽しく学べる「英語村」を開設しています。

イベントの様子



本学では、自由な雰囲気なかで、多様なイングリッシュスピーカーとの会話やアクティビティ(料理、クラフト作成、ゲームなど)を通じて、異文化を体感しながら楽しく学べる「英語村」を開設しています。手軽に英語に触れられる実践の場として毎日のように英語村に通い、語学力を磨いて海外留学に挑戦する学生もたくさんいます。

学生インタビュー



大津賀 浩世
(環境学部 3年)

英語村をきっかけに、英検や英語でのプレゼンテーションに何度か挑戦しました。中でも海外留学を通し、多くの人との出会いからコミュニケーション能力や物事にチャレンジする力を養うことができました。

英語村には大学生活において再度自分を見つめ直し、視野を広げるチャンスがあります。

まちなか英語村・出張英語村



まちなか英語村

鳥取東高等学校での出張英語村

大学での英語村のほか、本学まちなかキャンパスで毎週木曜日に行う「まちなか英語村」、地域に出かけて行う「出張英語村」があります。「出張英語村」では、高校と連携した取組みも行っていきます。

いずれも参加された皆様から大変ご好評をいただいています。

学長予定者の決定について



1. 次期理事長(学長) 予定者の氏名・現職名

えさき のぶよし
江崎 信芳 京都大学名誉教授

2. 次期理事長(学長) の任期

平成30年4月1日～平成34年3月31日(4年間)

3. 学歴・職歴

〈学歴〉

- 1973年(昭48) 京都大学 農学部 農芸化学科 卒業
- 1975年(昭50) 京都大学大学院 農学研究科 農芸化学専攻 修士課程修了
- 1978年(昭53) 京都大学大学院 農学研究科 農芸化学専攻 博士課程修了
- 1979年(昭54) 京都大学博士(農学)

〈職歴〉

- 1979年(昭54) 京都大学化学研究所 助手
- 1983年(昭58) 米国マサチューセッツ工科大学化学部留学(～1984・昭59)
- 1989年(平元) 京都大学化学研究所 助教授
- 1996年(平8) 京都大学化学研究所 教授
- 2005年(平17) 京都大学化学研究所 所長(～2008・平20)
- 2008年(平20) 京都大学理事・副学長(～2014・平26)
- 2014年(平26) 京都大学名誉教授
- 2015年(平27) 放送大学京都学習センター所長、特任教授(現在に至る)

決算報告

2016年度の決算の概要は次のとおりです。詳しい情報は大学のホームページでご確認ください。
(http://www.kankyo-u.ac.jp/about/announcement/report_since2012/)

損益計算書

収 益		
項目	金額(円)	割合(%)
運営費交付金収益	915,643,867	51%
入学金収益	87,777,200	5%
授業料収益	633,717,405	35%
検定料収益	22,015,600	1%
受託研究・事業等収益	32,713,860	2%
補助金等収益	13,087,837	1%
寄附金収益	1,631,076	0%
資産見返負債戻入	59,224,797	3%
財務収益	7,327,623	1%
雑益	23,718,220	1%
合計	1,796,857,485	100%

収 益

大学の収益は主に、設置者(鳥取県及び鳥取市)からの運営費交付金(51%)と学生からの授業料、入学金等の納付金(41%)です。

費 用

項目	金額(円)	割合(%)
教育経費	257,428,636	14%
研究・教育研究支援経費	179,324,123	10%
受託研究・事業費	30,416,825	2%
人件費	990,472,085	55%
一般管理費	131,696,483	7%
財務費用等	262,858	0%
雑損	86,400	0%
当期総利益	207,175,856	12%
合計	1,796,863,266	100%

費 用

大学の費用は主に、教育経費(14%)、研究・教育研究支援経費(10%)、役員・教職員の人件費(55%)、一般管理費(7%)となっています。また、当期総利益(12%)159,065千円全額を目的積立金とすることが設置者より承認されています。

※目的積立金:大学が定める目的(学生の教育の質の向上及び施設設備の改善)のために、次年度以降に支出できる資金です。

貸借対照表

資 産		
項目	金額(円)	割合(%)
土地	3,514,650,000	34%
建物、構築物、 工具器具備品他	5,285,509,182	50%
図書	341,534,324	3%
有価証券等	250,595,551	2%
現預金	1,000,817,682	10%
未収入金等	98,424,604	1%
合計	10,491,531,343	100%

資 産

大学の保有する資産はその大部分が土地・建物等(80%)ですが、有価証券・現預金も12%を占めています。また、図書は全体の3%となります。

負債・純資産

項目	金額(円)	割合(%)
固定負債	779,500,738	7%
流動負債	613,410,632	6%
資本金・資本剰余金	8,347,178,764	80%
利益剰余金	751,441,209	7%
合計	10,491,531,343	100%

負債・純資産

資本金は設置者から出資を受けたものです(鳥取県50%、鳥取市50%)。また、流動負債の82%は寄附金債務で、固定負債の99%は資産見返負債です。

※寄附金債務:寄附金のうち次年度以降に支出できるもので、見合いの資金を資産で保有しています。資産見返負債:運営費交付金等で取得した固定資産の見合いの金額を減価償却費にあてため計上するものです。この2つは地方独立行政法人会計に特有の勘定科目です。

大学からのお知らせ

2017年度 学部・大学院学位授与式

2017年度公立鳥取環境大学 学部・大学院学位授与式を下記の通り執り行います。本学での大学生活において、大いに学び、多くの経験を得ました。それらを胸に、大きく羽ばたいていく学生の晴れ姿をぜひご覧ください。ご家族の皆様をはじめ多数のご来場を心よりお待ちしております。詳細は、ホームページにてご案内いたします。



【日時】2018年3月20日(火)

- 受付開始/9:30 ●開 式/10:00
- 終了予定/12:30

【会場】とりぎん文化会館 梨花ホール
(鳥取市尚徳町101)

〈お問い合わせ先〉

公立鳥取環境大学総務課 TEL / (0857) 38-6700